

川崎市環境教育・学習基本方針

～環境教育・学習を効果的に推進していくためのガイドライン～
(概要版)



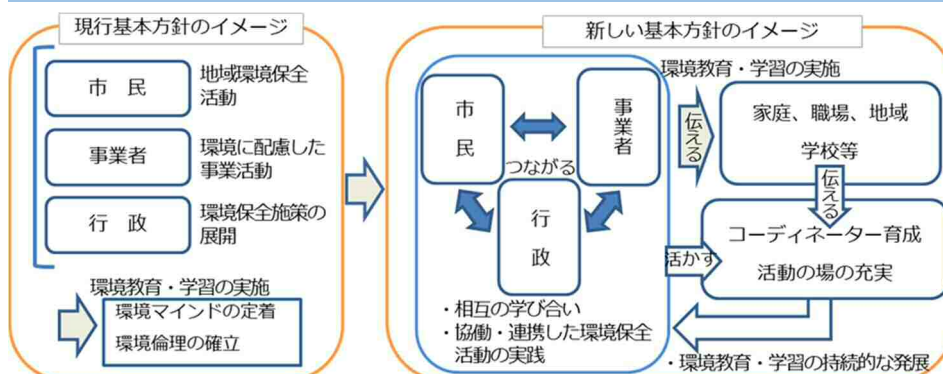
■ 「川崎市環境教育・学習基本方針」の目的

多様化する環境問題に対応できる人材（多様な主体・問題の関連性への理解等）の育成や、市民・事業者・行政が協働・連携して取り組む環境教育・学習の体系的かつ効果的な推進を図るための基本的な方向性を定めています。

■ 川崎市環境教育・学習基本方針の改正（平成 28 年 3 月）の背景

- ・ 市民活動団体や事業者などの様々な主体における積極的な環境教育・学習への取組の状況
- ・ 前回の改正から概ね 10 年経過し、低炭素社会、生物多様性保全などの環境関連情勢が変化
- ・ 環境教育・学習を担う人材の育成が進み、それらの効果的な活用が必要

市内の環境教育・学習について、環境関連の情勢に対応しながら、様々な主体や世代との協働・連携による環境保全活動の輪を広げ、環境教育・学習の取組を持続的に発展させていく

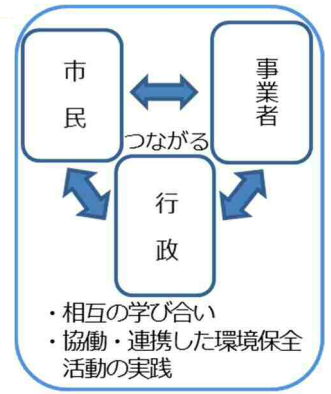


「つながる」
「伝える」「活かす」

環境配慮の意識の向上と、協働・連携して環境保全に取り組む社会づくりを進めます

協働取組の推進【つながる】

市民、事業者、行政が相互に協働・連携して、環境教育・学習に地域全体で取り組みます



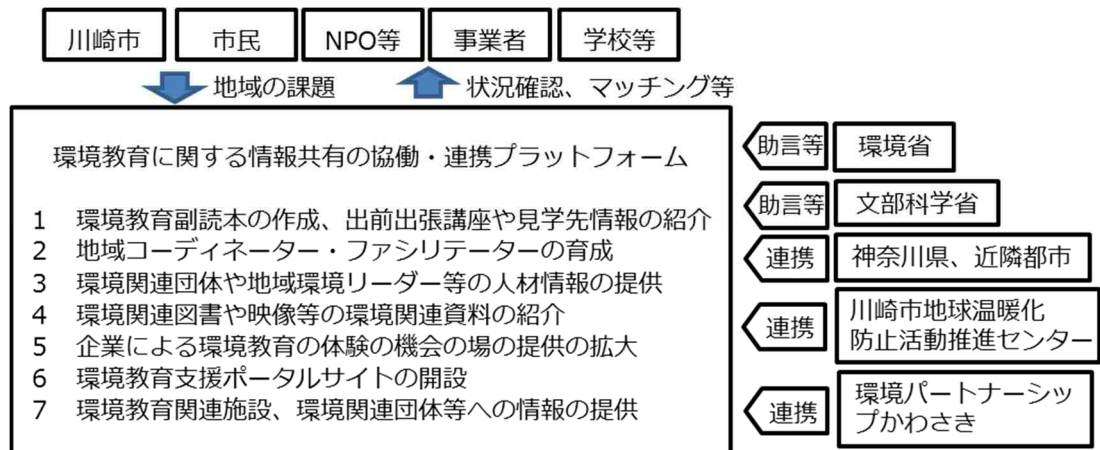
■川崎の地域資源を活用したつながり

川崎市には公害克服に向けて取り組んできた経験のほか、優れた環境技術の集積とその環境技術による国際貢献、河川や丘陵等の豊かな自然、数々の環境教育・学習の拠点、そして、地域における活発な取組など、地域の環境保全活動を支える地域資源が豊富にあります。

これらの地域資源を活用しながら、地域で共通して抱える課題、あるいは川崎への愛着や誇りの醸成などにより、地域を構成する各主体が共通した目標を持ち、地域を適切に把握しながら連携し、地域環境力を強め、実際の環境保全活動につなげていくことが重要です。

そのため、市民、市民活動団体、事業者、NPO法人、学校等、国、近隣都市等との環境教育に関する情報共有を図る協働・連携プラットフォームを形成し、川崎の様々な地域資源を活用したつながりによる仕組みづくりを進めます。

川崎市で形成する環境教育に関する情報共有の協働・連携プラットフォームのイメージ



国際環境技術展での各団体同士の交流



多摩川での生き物観察



農ある風景が残る里山での交流



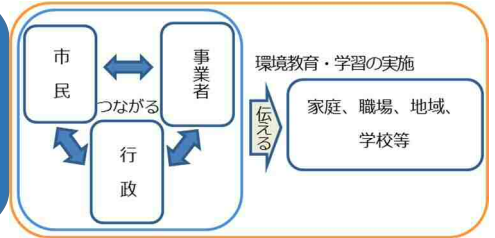
環境教育等拠点（環境総合研究所）



活動団体同士の交流（花と緑の交流会）


環境教育・学習を地域で実施【伝える】

家庭や職場、学校等の様々な場で環境教育・学習を実施し、自ら環境配慮に取り組んでいく人材を育て、地域における行動を促します



■ 関心を引きつけて参加を促す取組

【成長過程に応じた取組】

小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> 環境副読本、補助啓発資料の作成・配布 出前授業の実施（地球温暖化防止活動推進員、出前ごみスクールなど） 校内へのビオトープ作り 	
高等学校・大学	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校や大学と、行政、事業者・学校等、市民活動団体（NPO法人等）が協働・連携した地域での環境保全活動の実践に向けた情報共有や地域環境リーダー育成等の支援 	

【自発的な意思を尊重した取組】

実践した環境教育・学習の成果を発表しあう交流の場の提供
(エコ・フェスタかわさき)



【効果的な情報発信】

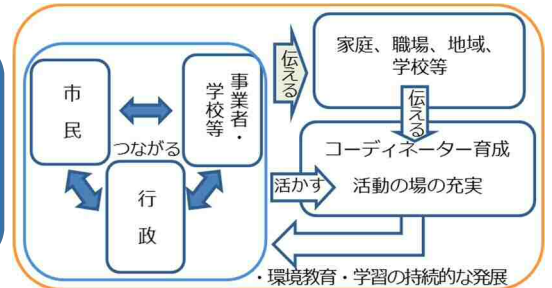
各主体が開催するイベントや市の施策の効果的なPR活動を実施
(環境教育支援ポータルサイトの開設・運営)

川崎市環境教育支援ポータルサイト

検索

人材育成とその活用【活かす】

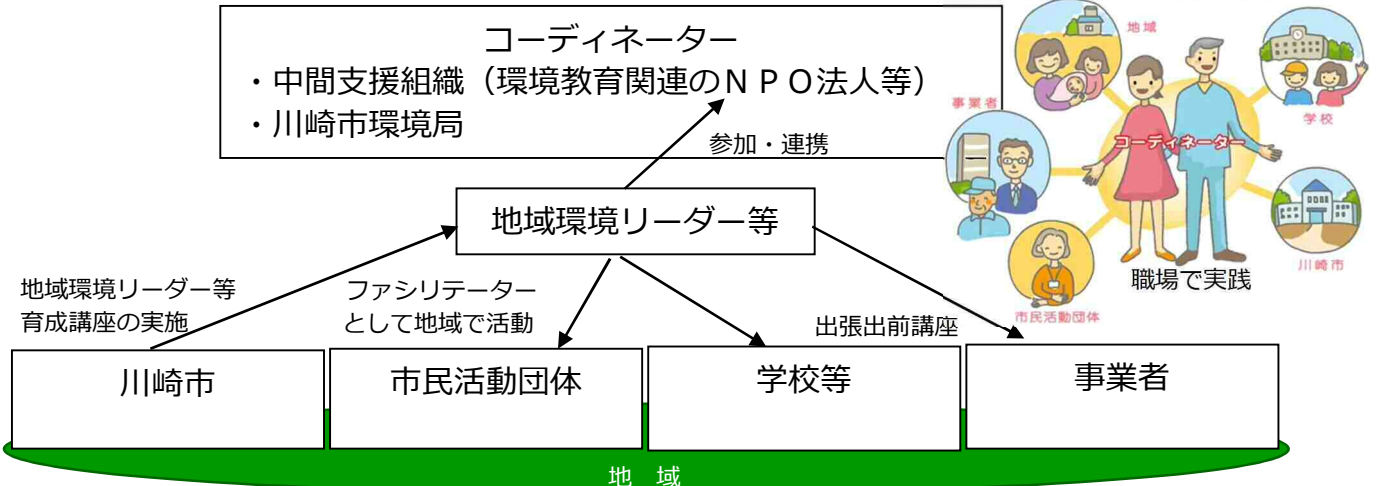
環境教育の持続的な発展に向けて、地域環境リーダー等の人材育成や環境教育・学習の活動の場の充実により、地域の活動をさらに促進します



■ コーディネーターやファシリテーターの育成とその活用

コーディネーター（主体同士をつなげる調整役）

ファシリテーター（中立の立場で問題意識を引き出し、自発的な行動につなげる促進役）



■環境教育・学習に係る拠点・施設の充実

民間事業者の施設を環境教育の体験の機会の際に認定するなど、環境教育・学習を体験、実践できる場の拡大を進めます。

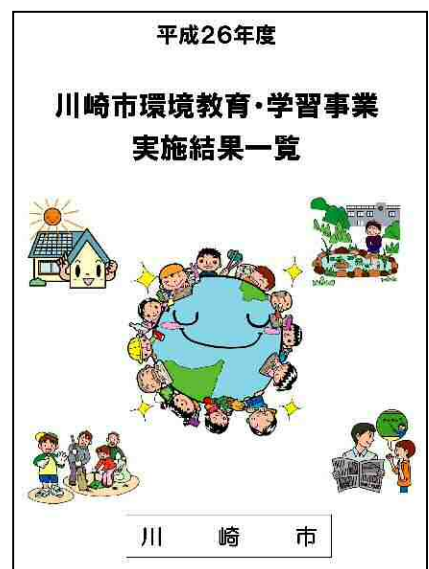


■環境教育・学習の推進と進行管理

環境教育・学習の計画的、効果的な実施に役立てるため、毎年度、環境教育・学習の実績報告及び実施計画を川崎市環境基本計画年次報告書により把握し、その報告を基に「川崎市環境教育・学習事業実施結果一覧」としてとりまとめ、ホームページでの公開、図書館、市民館での閲覧により、公表していきます。

また、この実績報告から、川崎市環境教育・学習推進会議において事業の進捗状況を確認するほか、課題等を把握し、解決に向けた検討を進め、必要に応じて見直しを図ることとします。

この基本方針を基に、おおむね10年間、環境教育・学習を推進することとし、この見直しにあたっては、市民や事業者等が参画し、検討を進めることとします。



川崎市環境教育・学習基本方針

検索



川崎市環境局環境調整課

電話：044-200-2387 F A X：044-200-3920